

2022年2月17日

目黒線奥沢駅の新駅舎・連絡デッキの供用を2月26日より開始

～目黒線利便性向上に向け通過線・新たな上りホームの供用も3月12日より開始します～

東急電鉄株式会社

当社は、目黒線奥沢駅新駅舎(上り:目黒方面改札口側)および新駅舎と駅ビル(下り:日吉方面改札口側)を接続する連絡デッキの供用を2022年2月26日に開始します。なお、駅ビルの店舗については、2022年度上期に順次開業する予定です。

今回、供用開始する新駅舎・連絡デッキは、閑静で落ち着いた奥沢駅周辺の街中に散見される木々のイメージを取り込み、温かみのある空間となるよう設計しています。線路を挟んで南北にそれぞれ改札口を持ち、2棟に分かれている駅舎(新駅舎、駅ビル)は、1つの駅としての一体感、統一感やつながりが感じられるよう、内装や外部仕上げなど随所に同一の素材を採用しています。

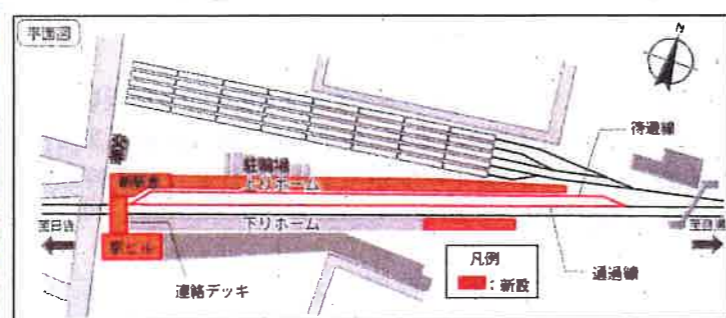
駅ビルには、新たに飲食店(カフェ)が出店する予定です。奥沢駅をご利用のお客さまや周辺にお住まいの方々の待ち合わせや憩いの場としてご活用いただくことで、街の賑わい創出を目指します。なお、連絡デッキは、改札外で南北をつなぐことで街の回遊性向上にも寄与します。

奥沢駅では目黒線利便性向上に向けて各種改修工事を進めてきましたが、2022年3月12日の目黒線ダイヤ改正にあわせ、通過線および新たな上りホームの供用を開始し、目黒線の朝ラッシュピーク前の一部急行列車の速達性向上と利便性向上を図ります。また、新たな上りホームは、2022年4月上旬から順次開始される目黒線の8両編成化に向け、8両分の全乗降口にホームドアを設置するとともに、上屋をホーム全ての範囲に整備することで、安全性・利便性を確保しています。

詳細は別紙のとおりです。



▲奥沢駅全体イメージ



▲奥沢駅改修後イメージ(平面図)

(参考)この資料は本日、国土交通記者会、国土交通省建設専門記者会、ときわクラブにお届けしています。

本リリースに関するお問い合わせ先

東急電鉄株式会社 CS・ES 推進部 広報 CS 課 TEL:03-5459-5340

【別紙】

■奥沢駅改修工事概要

奥沢駅では、2022年4月上旬の目黒線8両編成化に向け、上下ホームとも8両編成に対応したホームを新設・改修すると共に、全乗降口にホームドアの整備とホーム全ての範囲に上屋を整備することで安全性・利便性を確保しています。さらに、本工事に合わせ、駅に隣接する奥沢車庫においても、8両編成が留置可能な施設となるよう改修工事を実施しました。

また、奥沢駅をご利用いただくお客さまに心地良く駅をご利用いただけるよう、駅舎と駅ビルをリニューアルするとともに、まちの南北の回遊性の向上にも寄与する、駅舎と駅ビルを繋ぐ連絡デッキを新たに整備しました。



▲新駅舎イメージ

・新駅舎(目黒方面行 新駅舎)

所在地：東京都世田谷区奥沢2-9-20

開業日：2022年2月26日

構造：鉄骨造・地上2階建て

構成：駅コンコース(エレベーター・階段含む)、
駅務室、旅客用トイレ

・駅ビルリニューアル(日吉方面行 駅ビル)

所在地：東京都世田谷区奥沢3-47-17

開業日：[エレベーター・階段] 2022年2月26日

[店舗] 2022年度上期に順次開業予定

構造：鉄筋コンクリート造・地上3階建て

構成：駅コンコース(エレベーター・階段含む)、駅務室、店舗

3F	サービス店舗	(未定)
2F	飲食店	カフェ(2022年度上期開業予定)
1F	奥沢駅コンコース	

■目黒線ダイヤ改正

目黒線では、2022年3月12日のダイヤ改正にあわせ、奥沢駅の通過線を供用開始します。朝ラッシュピーク前の上り急行列車の1本が、奥沢駅と武蔵小山駅両方で先行の各停を追い抜くことで、速達性向上を図ります。また、日中時間帯の上り急行列車の所要時間を、武蔵小杉～目黒間で現行14分から13分に短縮します。

	日吉発	目黒着	所要時間
現行	6:58	7:19	21分
改正後	7:00	7:18	18分(▲3分)

■目黒線における利便性向上について

目黒線では、2022年4月上旬から、現行の当社保有6両編成車に2両を増結し、順次8両編成列車の営業を開始します。また、2023年3月予定の東急新横浜線開業までに相鉄線内に乗り入れる当社保有の目黒線全26編成を8両編成化し、新線開業による交通利便性・速達性向上に加え、輸送力増強により快適性を向上することで開業効果の最大化を図っていきます。

なお、8両編成化により1編成あたりの定員数は約890人から約1190人に増加(約35%)することで、ウィズコロナ・アフターコロナにおいてもより安心して快適に目黒線をご利用いただけるようになります。